

論述ブースト No.11

臓器移植・脳死を論じる ―― 死の定義・本人意思・家族の視点を整理する

導入文

「臓器移植に賛成か反対か」だけを問う小論文では、賛否の二項対立で終わる答案が量産される。脳死の定義・本人の自己決定権・家族の感情的困難・医療資源の配分という多層的な論点を整理することで、医師志望者としての深みある論証が書けるようになる。

講義概要

臓器移植・脳死問題を「死の定義」「本人の自己決定権」「家族の視点」「医療資源の配分」の4軸で体系化する。日本の臓器移植法の変遷、脳死と植物状態の違い、ドナーカードの意義、家族同意の問題を整理し、倫理的に多層論証を構築する技術を習得する。

授業目標：臓器移植論述を賛否の二項対立から、4軸を使った多層的論証へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試で、臓器移植・脳死テーマの小論文・面接に備えたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：脳死と植物状態の違いを説明できる／4軸で論点を整理できる／条件付きの立場表明ができる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：賛否だけの答案と多層的論証の答案を比較 2 定義軸：脳死・植物状態・心停止の違いを整理 3 自己決定軸：ドナーカード・事前指示書の意義と限界 4 家族軸：感情的困難・代理決定の問題を整理 5 資源配分軸：レシピエントの選定・公平性の論点 6 演習：「脳死を人の死と認めるべきか」を4軸で論じる 7 まとめ：「どの軸を中心に据えるか」を先に決める習慣

追加30分：「臓器移植法の家族同意制度は適切か」を4軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：脳死・植物状態・心停止の定義比較／4軸の論点整理表／日本の臓器移植法の変遷／論証骨子テンプレート

課題：「脳死を人の死として認めることの意義と問題点」を死の定義・自己決定・家族・資源配分の4軸で300字で論じる。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。